**ＩＣＴ活用工事（河川浚渫） 積算要領**

別添８

１　適用範囲

本資料は、以下に示すＩＣＴによる浚渫工（バックホウ浚渫船）（以下、 バックホウ浚渫船（ＩＣＴ））に適用する。

・バックホウ浚渫船

２　機械経費

２－１ 機械経費

バックホウ浚渫船（ＩＣＴ）の積算で使用するＩＣＴ建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。

なお、損料については、「建設機械等損料算定表」によるものとする。

バックホウ浚渫船（ＩＣＴ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ＩＣＴ建設機械名 | 規格 | 機械経費 | 備考 |
| ＩＣＴバックホウ  浚渫船 | Ｄ１．０ｍ３ | 損料にて計上 | ＩＣＴ建設機械経費加算額は別途計上 |
| Ｄ２．０ｍ３ |

２－２ ＩＣＴ建設機械経費加算額

ＩＣＴ建設機械経費加算額は、 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、 ２－１機械経費に示すＩＣＴ建設機械に適用する。

対象建設機械：バックホウ浚渫船

加算額：41,000円／日

２－３ その他

ＩＣＴ建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。

２－３－１ 保守点検

ＩＣＴ建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。

保守点検費＝土木一般世話役(円)× 0.05(人/日) ×浚渫作業日数

２－３－２ システム初期費

ＩＣＴ施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

対象機械：バックホウ

1,200,000 円／式

３　３次元起工測量・３次元設計データの作成費用

３次元起工測量・３次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。

４　３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用

３次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び３次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。

・共通仮設費率補正係数 ： 1.2

・現場管理費率補正係数 ： 1.1

※小数点第３位四捨五入２位止め

なお、バックホウ浚渫船（ＩＣＴ）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1)及び2)とし、それ以外の、ＩＣＴ活用工事（河川浚渫）実施要領に示された、その他の３次元計測技術（ 「1)に類似する」技術以外）を用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。

1) 音響測深機器を用いた出来形管理

2) 上記1)に類似する、その他の３次元計測技術を用いた出来形管理

４ 標準歩掛に対する補正

４－１ 浚渫能力の補正

ＩＣＴバックホウ浚渫船の浚渫能力は、標準歩掛の計算式で算出されるＱ（バックホウ浚渫船のバックホウ浚渫船１時間当たり浚渫量）に1.05を乗じる。

（小数第２位止め、四捨五入）

※実際のICT施工による数量についてのみ補正するものとする。

Ｑ＝４５．５ｑ×α×Ｅ×β

Ｑ：バックホウ浚渫船１時間当り浚渫量（ｍ３／ｈ）

ｑ：バックホウバケット容積（ｍ３）

α：土質係数

Ｅ：作業係数

β：補正率（１．０５）

４－２ 単価表の補正

建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ＩＣＴ建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 適用 |
| ＩＣＴ建設機械経費加算額 |  | 供用日 | 1.51 | 賃料 |

５　 受注者希望型における積算方法

当初は、通常の積算により発注し、受注者からの提案・協議によりICT施工を実施した場合は、ICT施工現場での施工数量に応じて変更を行うものとする。